

万世はどんなところ？

～まちづくりアンケート結果について～

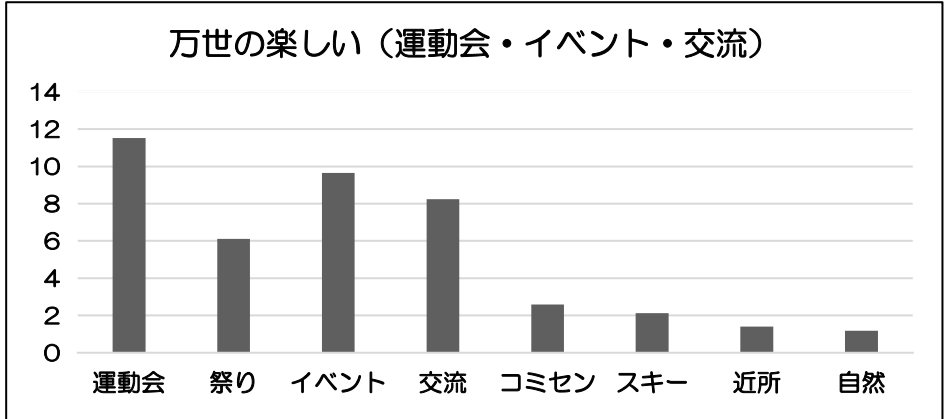
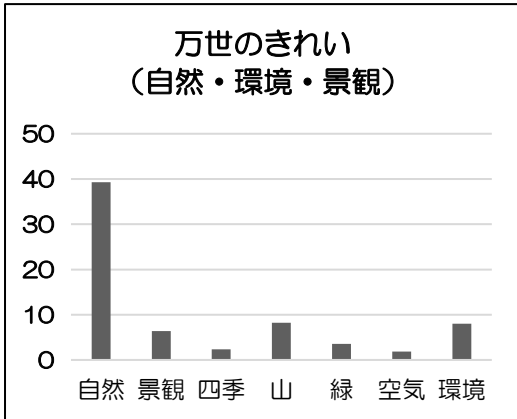
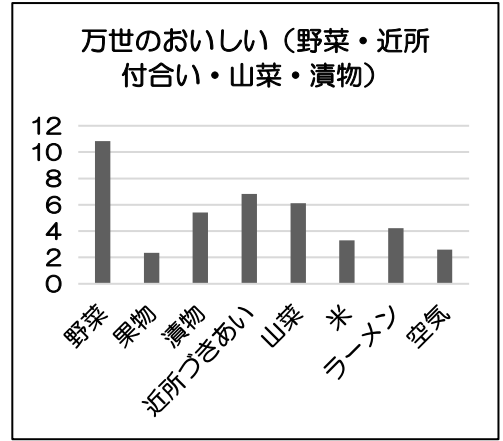
ご協力ありがとうございました

コミセンコーナー



万世まちづくり部会が9月に実施したアンケート。配布戸数 1197 のうち 425 件の回答がありました。回答率は 35.5%。回答者のうち、20 代～30 代からは 6.1%に留まり、63.3%が 60 代以上の回答でした。

万世地区での在住年数は 30 年未満の方は 37%でした。万世地区へ転入理由(回答は 317 件・複数選択可)は、住環境 24%、仕事関係 21%、不動産やの紹介 21%と、自然豊かな地域、八幡原工業団地を抱えていることが主な理由でした。万世のきれい、おいしい、楽しいについてのアンケート結果(グラフの単位は件数)は以下の通りです。尚、コミセンやまちづくり部会への要望は 3.4 ページに記載しています。



11/21(日) 万世教育懇談会開催

第 3 回目となった万世教育懇談会。

講師は地域振興課 相田隆行さんです。米沢市まちづくり出前講座として他地区での成功事例等をお話いただきました。相田さんは小学校で教諭をしていましたが、米沢市職員に転じ、現在は自らを「幸夢員コムイン」と名乗る地域づくりの達人。「一人の百歩より百人の一步」を念頭におき、人と人とのつながりを大事に様々な活動に取り組んできたそうです。なんでもプラス思考で考えることで難局を乗り越え、たくさんの楽しいエピソードから地域づくりにかける熱意が伝わってきました。

参加者は 27 人。ここに相田さん率いる山大生や高校生など 6 名が加わったのワークショップでは、グループ毎に万世の「強みや弱み、使えるものや不安なこと」の4つの観点から現状を洗い出し、その項目を組み合わせることで出来ることやしたいことなど話し合いました。いつもと違って刺激的

な思いもよらない意見に「やっぱり若い人がいるといいよね」と参加者から感想が。

まちづくりは老若男女を問わず、互いが互いを支え合い知恵を出し合って進んでいくことこそが地域づくりだと改めて感じました。



中央:相田さん、右:堤さん、左:高校生ユーチューバーの綾音さん

12/8(水)まちづくり部会、開催



9月のまちづくりアンケート結果や教育懇談会のワークショップで提案された内容を踏まえ協議しました。やってみたい事は以下の2点にまとめ、手始めに米沢スキー場の責任者や八幡原企業体の関係者に連絡をとり協議を進めていく予定としました。

強み	×	使えるもの	=	今度の活動
自然	×	スキー場 ・市民バス	=	新緑や紅葉を楽しむイベント
八幡原企業	×	夏祭り、 木楽里祭など	=	交流促進の広報活動 (多くの勤め人)





トピック・ニュース



12/13(月)～郷土史Ⅲ検討委員会

小屋原地区(梓山1)・刈安地区の開拓事業

今回は第3回目となる「郷土を語る会」を開催。テーマは「小屋原・刈安開拓」です。語り部に白石栄治さん(桑山4)と我孫子幸一さん(刈安)を迎えお話を伺いました。

食糧難となった戦後、食糧増産は国の事業とされ、昭和23年万世地区に牛森、小屋原、刈安の3箇所に開拓組合が作られました。お二人には入植当時の小屋原と刈安について、開墾や営農、畜産などに取り組んだ様子を語っていただきました。

小屋原開拓では県内外から8戸の皆さんが入植され、現在も継続されているのは2戸、その後、新たに土地を求めて3戸の方が移り住み、他2戸の方は別荘として利用されています。世紀(株)さんのそんぴん村も作られました。地区を流れる川は梓川(現、天王川)といい、昭和30年代までは大きなマスも遡上していたそうです。

又、刈安は入植者がなく、主に増反として刈安谷沢と中荒井を開拓しましたが、中荒井は水窪ダムにより現在水没地となっているとのこと。組合の2階建公会堂も建てられ、その跡地に現在の刈安公民館が建てられたそうです。

尚、2年目を迎えた検討会では、この50年に大きく変化してきた地区の様子を記録すべく、毎月1回を目途に会議をしています。



12/21(火)～自主防災協議会～

どなたでも！スマホ教室開催



「何故に自主防災がスマホ教室?」。それは、将来に向かって災害時の情報提供・収集をスマホで行っていきたい、という目的から。対象は協議会役員に限らず、どなたでも。今回は、松本志郎さん(元、地域おこし協力隊、パソコン教室主宰)を講師に迎えての開催でした。

災害時に役立つLineによるビデオ通話の体験では大変盛り上がりました。スマホ操作を学ぶことは情報格差をなくし、延いては命を守ることに繋がる大事な学習。来年度も計画いたしますので多くの方に参加していただきたいと思います。

2021トピックス ～こんなことありました～

広報部員さんが町内などに聞き取りをしました(以下)

- ① 桑山3町内→9月、桑山アンダーパスにエア―遮断機が設置されました。びつき石山公園のがけ崩れ部の修復や登り口部に看板「スリップ注意」を整備し、安心・安全なまちづくりを推進しました。
- ② 桑山第4町内→桑山第4公民館に新しいイスと机を整備。高齢の方もご利用しやすくなりました。
- ③ 桑山第5町内→町内会で計画し、桑山第2公園から堂森までの街路樹マスにマリーゴールドなどを植花。後日、青年部が第2公園まわりに植花。町内会の皆で協力し、きれいな道づくりが出来ました。
- ④ 七中 ※鈴木由衣さん(桑山 新生徒会事務局長)より七中トピックスも届きました！
→昨年、学校の活動に様々な制限がありましたが、今年は大変や行事を再開すること出来ました。特に、合唱コンクールを文化会館で行い、シトラスリボン※を作って互いの気持ちを高め合いながら、合唱をつくることできて良かったです。
※シトラスリボンとはコロナ禍で生まれた差別や偏見をなくすために、シトラス色のリボンやロゴなどを身につけ活動することです。
他の町内でも、2021年の話題を万世コミセン(☎28-5381)までお寄せください。

～新しい日直さんを紹介します～

昨年12月より勤務頂いています

小島進次さん(駅前)です。

よろしくお願い致します。



※令和元年7月からお世話になりました高橋邦男様、ご苦労様でした。

11/14(日)～早坂山あるき隊

キノコを栽培しよう！！



びつき石山で開催された、キノコ栽培の講座に市内5家族15名が参加しました。びつき石山で伐採したナラの木に、ドリルを使って穴を開け、菌を植えこみます。キーンというドリルの音、こんこんと菌を穴に埋め込む音が響きます。

キノコ栽培は早くても来年の秋、一般的には植菌から2年後の収穫となる息の長い活動です。参加者達は資料を片手に設置場所や湿気、育て方など熱心に聞き入り収穫に思いを馳せませした。

